

# 第二十五回福島縣保育會總會並に二十五年記念式

## 雜 錄

き、喜多方園、郡山園の園舎模型等は珍重すべき出品であつた。

### 二、實地保育參觀

福島縣保育會は、明治四十三年十月十八日郡山幼稚園幹旋の下に、創立したもので當時八幼稚園に過ぎなかつたが、二十五年を閲したる今日に於ては、縣内四十五ヶ所の幼児教育機關があるに至り、本會に加入せるもの三十五ヶ所に及びその會員數百二十餘名の多きに達した。其第二十五回總會を、須賀川町第二小學校内で開き、創立二十五年を記念して、式も舉げ、功勞者の表彰、關係者の追申會も行つた。

1、須賀川町保育所に於て、午前九時半から同町理髮業組合の人々が出張して百名の幼児の理髮を奉仕的にして居らるゝ様は涙ぐましいものがあつた。五ヶ年間に延三千九百二十四人の多數幼児を理髮してくれた、功績顯著なものであつた。

2、須賀川幼稚園の誘導保育によつた、お月見會の催しで、部分的に觀たら、一寸妙な所もあるが、絶えず引き續いて誘導して來て居る様が、よく窺はれた。

3、開會式

### 一、手技製作品展覽會

### 三、開會式

縣下各園の幼兒、保姆の製作品展覽會を須賀川町保育所内に開き縦覽に供した、自然物の應用、立體的の作品、木工細具等があり、近年急激に進展した跡が見え、白河園の郵便遊び、若松園の大名行列遊び等格段の注意を牽

### 1、開會の辭

主催地の代表保育所長

### 2、國歌合唱

### 3、會務報告

### 四、保育關係者追申會

午前十一時半より曹洞宗長祿寺に於て行はれた。故原喜多方園長外十五名の靈位を安置し、莊嚴なる中に慇懃なる讀經があり、保育會長の悲痛なる弔辭の朗讀があつた、

白河町、郡山市等より特に臨席せられたる遺族、竝に會員一同の嚴肅なる裡に燒香をなし、追慕の念深き法要を勤修した。

五、創立二十五年記念式

- 1、擧式の辭 主催地側の園長
- 2、表 彰

(1)本會の創立に盡萃し、會務の進展に努め、本會出席二十五回の功績者

郡山幼稚園長 松山 政治  
 若松幼稚園保姆 入間田 よしの  
 勤續十年

若松幼稚園保姆 麻生 しけの  
 同 理事 生龜 藤 吾  
 同 同 齋 藤 義 雄

勤續五年

須賀川幼稚園委員 井上 米 吉  
 同 同 松本 留次  
 二本松幼稚園保姆 菊地 さみ  
 會津保育園長 松山 良純  
 外六名

(3)在職五年以上にして退職せる功績者

會津幼稚園保姆 高橋 なみ  
 外五名

(4)感謝狀(多年保育事業に援助したる團體又は個人に捧呈す)

(私立三春幼稚園) 東北日本基督教會幼稚園委員會  
 (小野新町兒童遊園) 同 園 青年後援會  
 (須賀川町保育所) 同 町 理髮業組合  
 (同上並に同幼稚園) 園 醫 太田 貞喜  
 (會津保育園) 理 事 小林 傳七  
 (會津幼稚園) 同 田村 綱宗  
 (白河幼稚園) 同 小野 龜次郎

(郡山婦人會保育所) 後援會長 阿部 よし

(同) 理事 湯淺 榮子

(同) 同 横山 ここ

(若松保育園) 幹事 山口 きち

松山園長には感激に満ちたる謝辭を、勤続者を代表して  
會津保育園長、保育援助者を代表して太田醫師より、鄭  
重なる答辭をのべられた。

### 六、會議

#### 1、協議題

○保育大會を左の二部に別ち、協議する必要ありき認む、  
如何

(一) 幼稚園部(教育本位の關係者)

(二) 社會事業保育部(保育園託兒所關係者)

(可決) 高田保育園提出

#### 2、研究題

○如何なる計劃を以て、幼兒の遊びの發展に力を注がれ  
つゝあるか。  
白河幼稚園提出

#### 3、談話題

○誘導保育をこり入れらるゝ上につきての感想承りたし

郡山幼稚園提出

○近來強調せられつゝある「日本精神」を本縣保育界に於  
ては如何様に迎へつゝあるか

須賀川幼稚園提出

○幼兒身體検査表に於ける「概評」算出に際し、各園使用  
の早見表は統一する要ありき認む

須賀川幼稚園提出

○炭火を用ふる辨當溫め箱の設備如何

須賀川町保育所提出

○保護會若くは母姊會等の方法竝に狀況承りたし

一喜多方幼稚園提出

○保姆及園兒の服裝につきて研究考案せられたる向あら  
ば承りたし

同 園提出

○冬季の保育を以て特に實施されつゝある事項承りたし

福島幼稚園提出

#### 七、研究發表

○夏休中の手技製作(母ミ子の手すざび)について

郡山幼稚園保姆

○大名行列について

若松幼稚園保姆

二、園長會

八、演説

○根本的教育

博愛幼稚園長 兼 子重 光

九、町長招待會

午後四時より會場内に於て、須賀川町長の招待會あり、

土地名産の記念品を贈られた。

一〇、遊戯交換會

今夏文部省主催の講習會並に昭和保姆養成所講習會に出席せられたる七人の方々講師となつて共々研究し合つた

かくて午後五時退散

第二日 同二十一日(日)

一、手技製作講習會

1、會場 前日に同じ

2、講師

東京女子高等師範學校附屬幼稚園保姆 及川ふみ先生

廢物を利用して種々立體的の手技品につき午前九時より午後三時半まで懇篤なる教授があり、會員は極めて熱心にその指導を受けた。

別室に於て種々の打合せ、協議があり、來年度の會場は、若松市で引き受けらるゝこととなり、いづれ確定の上、通知するこゝを議した。

三、記念撮影

會場入口に於て二十五年記念の撮影をなした。居並ぶもの八十七名、第一日だけの出席で今日缺席せる方の多數あつたのは聊か残念であつた。

四、參會出席者

○參加幼稚園三十一ヶ所

○園長、所長、館長等十九名

○主事、理事、書記等十二名

○保 姆 七十三名

○來 賓 十九名

計百二十三名

五、社會事業保育者の懇談會は、第一日の夜、その宿舍虎屋旅館で催された。來年度からは保育會も部會制が成立されたので、この會合は、自然それの方に移るのである。